いわき民報
發行所 平市田町48 電381 176 1222 いわき民報社 編集兼印刷發行人 田原登

黒澤醫院
院長 黒澤廣
小名濱町竪川南1（第一小學校前）電話45番

麥の減收一萬八千石

菜種三百五十石、薯七十萬貫

農作物被害の概要判明

十五日正午現在における石城地方事務所の調査による管內農作物の水害による減收量は麥一万八千石、菜種三百五十石、馬鈴薯七十万貫で麥は作付面積の約三割菜種、馬鈴薯は何れも五割とみられている また苗代の冠水は六十町植付千二百町分でこれらの苗は淸水で洗つてボルドー液で消毒しなければ黄斑萎縮病となつて枯死してしまうので全所では管內町村に對し防除對策の實施を警告した、尙鹿島村では植付けたばかりの水田三十町が冠水したため全部植え直しという狀況にある

作付面積に對して被害程度の多い町村は錦、山田、夏井、內郷等で錦の如きは菜種作付四十三反中九反が流失馬鈴薯は作付百二十七反中百十九反で全滅に近く、麥も十八町五反で約二百五十石の減收とみられている

判明した被害

その後判明した出水被害

◇高久村下高久淸水地內縣道は約百米の間深さ一米に水没、冠水のため田畑約五町歩が流失

◇高久村藤間中學校校庭に約五坪土砂崩壞人畜に被害はなかつたが建築事務所倒壞

◇小名濱町では床下浸水家屋二十三戸（一〇五名）田畑一町二反三畝冠水、減收見込みは二割、被害二万二千円冠水苗代は減水後ボルドー液消毒を施せば被害は無い見込み

休山鑛も出る

炭鑛の被害狀況

東部石炭協會の調査による十五日午前九時現在の炭鑛水害狀況が次の通り判明

◇內郷町戸部炭鑛では大字白水字大畑、町田、稻根地內の本線約二百米が水没八十一百立方尺の出水、鑛外土砂崩壞二ヵ所で二百屯の減炭見込み、復舊には三日を要する

◇赤井村相川炭鑛では出水のため十四、五の二日間休山減炭五〇屯

◇內郷町高階炭鑛では鑛內崩壞十二ヵ所排水溝に土砂崩壞十三日は休山復舊に十五日を要する見込み減炭は一日三十五屯

◇赤井村日曹赤井炭鑛では十四日電工場のモーター一二十余台が水びたしになつたが十五日ころまでに復舊する模樣坑內には影響ない

◇赤井村赤井共榮も全坑が水没したらしく調査中

なお炭鑛坑外の被害は小田炭鑛平坑の送炭線が十四日土砂崩れで送炭不能となつたが十五日ころ迄には復舊の見込み 大日本勿來炭鑛では選炭場附近の線路が十四日の降雨で約三十坪程度埋沒、南坑の酋人車まき場約二十坪が崩壞した外十四日四澤の輕便交換場の兩壁が約七間崩壞したが運行に支障なく出炭にも影響ないなお既報小野田炭鑛の復舊には水没ポンプに變る豫備ポンプ六台があるので約十五日間を必要とするがこの間の減炭は約千屯とみられる

岸壁利用協定書に

港灣會社調印拒む

海運局で善後處置

小名濱埠頭の貨車止め問題についてこれを今後繰返さぬようにしようと東北海運局運航部長佐藤長四郎氏が肝入り役となり去る五月九日小名濱町で東北海運局、小名濱支局、小名濱港務所、小名濱港灣會社、臨港鐵道、日本水素、旭運輸産業會社の關係者が集り既報の如く港灣會社と埠頭會社の岸壁利用について

岸壁は積揚双方の荷役に支障のない限度に於て使用するものとし余剰貨物は臨港側線西側に置くこと、この限度及び處理については配船その他の事情を勘案し海運支局並に港務所協議の上關係者に指示するものとするこれによりて生ずる事あるべき構持料は各荷主に於いて負擔するものとする

ほか二件を滿場一致で協定したが、その後この協定書に對し小名濱港灣會社が今だに調印することを拒んでいるため問題となり業を煮やした海運局小名濱支局ではこのまま放つてはおけないと今野支局長が十三日東北海運局に出頭しこれが處置について本局の指示を仰ぐことになり注目を惹いている

了解し難い

今野支局長談

右について今野支局長は語る

はじめ港灣會社は荷主代理の旭運輸が調印すれば私の方もこれに應じようと云つて調印を拒んだため旭運輸の調印を得て來たところ今度は再びこれを拒否している、滿場一致で決つた協定書に何んで調印出來ないのか了解に苦しむ、これ以上とても待てないので本局の指示を受けて對處したいと考えている、何れ本局から歸つてから小名濱港務所とも相談した上で今後の方針を決めたい

何も語れない

西丸社長語る

これに對し小名濱港灣會社西丸社長は次の如く語る

調印しない理由はこゝでは何んとも言えない

合併陳情書取下げ

內郷町小島部落では同町から分離して平市に合併すべく內郷町會に對し分離の陳情書を提出中だつたが十五日朝突然これを取下げて仕舞つた、內郷町役場の話によるとこの取下げは全く小島部落側の自發的な行爲でこれにより平市との合併問題は終息したと云つている

斷念でない

加藤氏語る

右について小島部落の平市合併促進委員長加藤武久氏は次の如く語る

陳情書を取下げたのは時期を待つために行つたもので合併を斷念したわけではない、今後は別な方法でますます活潑に平市との合併を促進して行く考えである

三名で盗む

磐崎中學生

磐崎村上湯長谷字長倉礦炭住磐崎中學二年生菊地某（一三）同三年生熊田某（一四）、同三年生酒井（某）の三名は去る二月二十八日ころから五月中旬ころ迄の間に共謀で湯本町三函書物商新妻秀雄さん方から百五十円相當の本を盗んだほか磐崎村上湯長谷字長倉鮮魚商店佐藤博さん方に忍び込み、現金一万二千円を盗んだことが判明十四日湯本署では書類を送檢した

貫六百圓を內渡し

春繭取引の協定成る

石城地方の春繭は十三日から出廻つているがまだ掛目が決つていない爲內渡金について十四日養蠶家代表と片倉製糸所と協議した結果、取敢ず貫六百円を內渡し檢定成績が決り次第差額を支拂うことになつた、また玉屑繭は大泉製糸（平市南町）と業者代表と協議した結果次の如く決つた

【玉繭】一等六百五十円、二等六百二十円【屑繭】一等五百円、二等四百五十円

植田、錦方部の被害

豪雨で鮫川が增水し殊に植田大倉間のガード下の低地たる田畑（仁井田、イクリ錦、植田を含む）數十町歩は冠水し麥、馬鈴薯、菜種類は殆と全滅し、植田、錦、仁井田、大倉方面の農民は十四日消防組員と協力し徹宵警戒の任に當つた、植田町場の調査によると植田地區管內の被害田畑は二百余町歩を算し又浸水家屋は十數戸、錦町では流失せる作物は麥十八町五反、菜種十反馬鈴薯二町五反、大麥（三割以下の被害）十三町二百歩同一割以下十二町四反歩計四十四町一反歩、菜種五割以下二反歩、三割以下六反歩、一割以下八反歩、馬鈴薯九割以下三町五反、七割以下四町三反歩、五割以下五反歩、三割以下三反歩、一割以下八反歩計十一町九反歩

白菊にも賊

酒盗まる

平市田町酒類販賣業內倉武雄さん（三六）宅では十五日午前二時頃ドアのガラス窓を鋭利な刃物で一寸四方を切られ內かぎをこじあけられ陳列棚にあつたオーシャンウイスキーと一級酒（白菊）を一本づつ盗まれた

三人赤痢と決定

◇泉村驛前三五上遠野エイ子ちやん（三ツ）は十二日赤痢と決定

◇既報一豐間町八幡、小野キヨミちやん（八ツ）は眞性赤痢と決定、隔離した

ラグビー大會

十八日高校對抗

石城地區高等學校体育連盟では十八日午前九時から平工グランドで各校第二軍のラグビー大會を開催する

學校便り

◇平市內小中學校研究協議會は二十一日午後一時半から平第五小學校で開催、縣指導課長長谷川齋郎氏を囲み事務の打合せを中心に敎授方法の研究を行うことになつた

◇市內小中學校敎務主任會は十六日午後一時半から平第一小學校で開催、指導要錄、觀察簿、通信簿の制度及び活用に就き研究協議する

天気予報 十五日

【今晩】北よりの風、時々くもり處によつては俄雨

【明日】朝夕は北よりの風、日中は南よりの風大体晴天時々薄雲が擴がる、海上は沖合は多少波立つが沿岸はおだやか

民報論壇

競輪場設置の是非

野澤武藏

市營競輪場問題が漸く具体化し、建設省の許可を受けるため、市會の代表者が理事者と共に出京した旨報ぜられている。當局の努力に對しては敬意を表するものであるがまだ正式認可のない今日、早くも土地問題にからんで兎角の噂が流布され、或いは工事請負問題についても巷間にデマが亂れ飛んでいる。飽くまでデマであることを念願するものであるが、これと別個に最近有識者の間に競輪場設置の可否論が喧しく稱えられて來た。

賢明なる市會議員諸公が論議し、是なりとして決定したことに難クセをつける譯ではないが、競輪場の設置が市民にとつて果してプラスになるであろうか、吾等は大なる疑問をもつものである。市當局の計畫に依ると總工費二千万円（市債）投じて競輪場を建設し、入場料の外に一回六日間の勝者投票券（馬券と同じ）の賣上げ五千万円と見込みこの市收入百八十万円也、これを一ヵ年を通じ十二回行うと二千万円も轉げ込んで設備費は一年で回收つくという、確かにボロイ儲けである。然しこれは飽くまで豫算でありとらぬ狸の皮算用と見るべきであるまいか、破綻に瀕している市財政に注射をする一つの方法としては多少プラスになるであろうが、市民にとつてマイナスの面を見ていない

會津から來た有識者の述懷に依ると、競輪場が出來た爲、怠け者が非常に多くなり、夫婦喧嘩の仲裁相談が百十四件、窃盗事件が二百三十件も急增した。『競輪場を造るには前もつて警察署をもう一つも作らねと安心出來ない。風紀は極端に惡く成る、それで商店界もサッパリ品物が賣れない。一日も早く中止して貰いたいものだ』と。これを裏書きするように、市內の或る商人が若松市內の現況について『物が賣れない筈です、競輪が始ると何れもそわそわして投票券を買う金の工面に氣をとられるしまいには女房の着物まで賣るという始末だから夫婦喧嘩も起るし、競輪が始ると逆に不景氣になる、花柳界方面は多少賑わう位が關の山ということろだ』と競輪場反對の聲を擧げていた

假りに六日間で五千万円の賣上げを見たとしても、百人のうち九十九人は損をして、一人だけ儲けるという賭博行爲であるから、勝つた者の景氣は、全体的に見ると極めて微々たるもので大多數が損をするのだから市民のふところ具合は結局惡く成るのが定法だ。炭礦や漁業地など近郷からの觀客も、品物を買う金を競輪へ注ぎ込むという反對現象が起るのではないか、青年や學生、兒童にまで浮薄な頽廢的空氣に染ませることは大きいマイナスでなくて何んであろう。各地の既設都市で競輪場の問題が再論議されている際であり、市當局も道義的見地から今一應檢討する必要があろう

宅地家屋賣買物多 龜田屋商會 平市三丁目

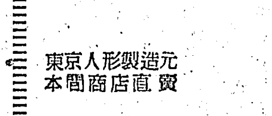
七十七の 七福定期預金
辨天賞 10万圓
1口 1000円 6ヵ月無稅 【取扱中】
七十七銀行平支店

移轉御通知
弊所儀今般左記ニ移轉致シマシタノデ御通知申上ゲマス何卒倍舊ノ御愛顧ヲ偏ニ御願致シマス
(新)平市田町壹番地（マサゴヤ裏）
又一株式會社 平出張所 電話九七七番
本社 大阪市東區北久太郎町二ノ五〇
支店出張所 全國二十三ヵ所

五月人形 大特賣中 200円より
あるが家具店 平市銀座通電223

渡邊醫院 眼科 齒科 四倉町驛前 電話一四〇番

泌尿器科 性病科 皮膚科 矢吹醫院 平市縣社下 電一一九三・一一九五番

特選五月人形 特賣

市價の三割安
東京人形製造元 本間商店直賣
特約店 上原商店 平市白銀町（電22）

文藝春秋 七月號（九〇圓）
美しい暮しの手帳（復刊） 八月號（一四〇円）
ホーム 八月號（七〇円）
【それいゆ】13號發賣中
平市銀座通 電一〇七四 石川書店

下宿人を求む 「委細面談」姓名在社

鹽化ビニールを生産
呉羽化學 試運轉に成功

錦町呉羽化學工場では纎維加工用に缺くべからざる處の鹽化ビニールを生産すべく過日來機械据付中の處去る十日試運轉を行つたが成績極めて良好で本格的生産は來月より月産三十屯の見込みだが將來は三百屯を産出の豫定である

事業擴張の爲增員

企業整備時代を逆に呉羽化學け事業を擴張し新規に從業員五十名（十八才から三十才前後の男女子）を採用し現在一千三百五十余名と云う陣容で三交替制で增産に馬力をかけている

△△△△△△△△△
輸血や醫療代を惠み 危機の人を救助す
二女性の感激美談

病床にたおれ生命の危機に瀕している青年が金がないため醫者に診斷してもらうことも出來ずあわや死の寸前にあると云う事情をきいて馳け付け細い給料の中から診療代を出して助けてやつたと云う人間愛に根ざした美談がある

話題を生んだ主人公は平市杉平二〇十字洋裁學院委員長加藤冨子さんと同學院の教師松本スミ子さんの二人で助けられた人は同所の金成毅君（二二）である、金成君は昨年六月腸結核で豐間町緑ヵ丘療養所に入院し現在自宅で靜養しているが母親の細腕一つで現在まで醫療代をまかなつて來たものゝいつまで續くものではなく病氣が惡化してゆくのに診療代がないためどうすることも出來ず吾が子の次第に衰えてゆく姿に氣を揉んでいたが、これを知つた加藤さんと松本さん（同居）が馳け付け自から進んで輸血し僅かですがと云つて診療代として三千円を出し病氣の昂進を漸く止めてやり危うく一命を助けてやつたもの、なお加藤さんと松本さんはクリスチャンで『人の困つているのを助けることは當然のことです』と謙虚な氣持で語つていた

鄉土史研究會組織へ
植田の古墳發掘手續

植田町は古い歷史を有し現に町役場には德川三代將軍家光時代からの古色蒼然たる書類と繪地面等が保存されていることに往時の鮫川と現在とは大部變形しており更に後田は古墳の地として知られている斯うした貴重な資料を調査研究し考古學上に貢獻したいとこの程同役場岡田產業主任が左の諸氏に呼びかけ役場樓上で發起人會を開き種々協議した結果鄉土史研究會を組織する事に決定し、近く會則を決め第一回研究會を開催することになつた、正副會長は會員中より選任し顧問に渡邊町長を推薦に確定、又客員として町有力者が網羅される筈、發起者は役場岡田、花見自警署長、青年連盟會長合津定之、丸通坂本登、植田驛小檜山助役、縣南工業合資會社舘、登記所山際、植田學校職員、熊谷保雄、山田村中學校職員、しずく石太郎の諸氏である、尙古墳後田の赤津又太郎氏の所有地內で目下發掘の手續中である、果して如何なる資料が發掘されるか興味を惹いている

五千二百万圓を貯蓄
こども金融一ケ年の實績

昨年四月植田小中學校の子供銀行創立をふり出しに各校が競つて郵便局、協同組合等を設置して子供の貯蓄心を昂揚させて來たが地方事務所の調査によるとこの一年間の統計によれば小學校では二十九、中學十九の子供銀行等が出來た

これら子供組合の貯蓄高は小學校二百九十三万九百六十六円、中學校百五十二万四千九百七十五円となつて居り未設置校生の一般金額を合わせると小中學生の合計が實に五千二百二十五万五千十円となつている

健保協議會
役員決る

國民健康保險協議會の役員がこの程次の通り決定した

◇會長 鈴木武一（好間村長）◇副會長 高木榮一郎（錦町長）草野貢伊（上下小川村長）◇理事 西山惠一（大野村長）渡邊國之助（植田町長）山崎辰亥（內鄉町長）近藤貫一（江名町長）吉田勝記（泉村長）靑木半次郎（夏井村長）柴崎左七（永戸箕輪村長）太田原憲太郎（磐崎村長）酒井正雄（入遠野村長）松本久吉（湯本町長）◇監事 阿部崇順（大浦村長）蛭田三郎（山田村長）水野政次郎（小名濱町長）

月三回街頭で補導
校外生徒指導連役員を改選

平校外生活指導連盟役員會は十二日午後二時半から平第一小學校で開催、二十五年度新役員理事長野々山三郎氏（磐高）、副理事長黑田吉之助氏（一小）、同中島茂氏（一中）を選出後事業方針を協議した結果街頭補導に全力を傾注することに決定、月三回街頭に進出不良化防止に萬全を期すことになつた

湯本青年會 討論會開く
來る廿日

湯本町青年會では二十日午後一時から役場會議室で、婦人會と時事社會問題を放談的に討論することになつた

町の美化に清掃隊編成
湯本町で

選擧ビラなどでよごれた町內を清掃美化しようと湯本小中學校では生徒を動員各區毎に清掃隊を編成、各區擔任敎師の指揮で雨上りを期し一齊に行うことになつた

勞基法に違反せず
太田原から回答

平勞基署では自由勞務者三十五名が平職安所の紹介で栃木縣ほうき根川河川改修工事に行きすぐ逃げ歸つて來た問題につき勞基法違反の有無を現地の栃木縣太田原勞基署に問い合せ中だつたが此の程同署に回答して來た

それによると勞働條件及び强制勞働の違反はないことが判つたが寄宿舍がなく一時假小屋に收容された事實はあつた

12 898人 市內在學生調べ

平市役所の調査による市內各校の在學生徒數は五月末現在で合計一萬二千八百九十八名となつて居り市人口四万二千名に對して三割强となつている、以下高中小校別に示すと左の通り、カツコ內は職員數

▽高等學校（五校）四千百三十三名（百九十一名）▽中學校（三校）二千九百十三名（八十六名）▽小學校（六校）五千八百五十二名（百四十三名）

共犯者捕まる

植田地區署から送檢され窃盜犯樋口義輝の共犯者高橋忠勝（三二）は所在をくらましていたが此の程田人村醫平に潛伏中植田地區署に逮捕された

狂犬病

十日平保健所に小名濱町に狂犬病が發生したと報告して來た、若松技師が現地に急行山田シゲさんのところへ舞込んで來た仔犬を檢査したところよだれをたらしふるえていたが狂犬病でない事が判明飛んだ人騒がせ犬であつた

未拂が一千萬圓
五月分の事業場

平勞基署が集計した五月分の管內事業場の賃金未拂は植田町万治炭鑛の三百十万円を筆頭に十五件、九百七十一万二千円に上つている、うち五月中になつて新らしく發生した事件は日高見鑛業株式會社田人炭鑛の八十万円のほかに五件で百七十万円となつている未拂となつている事業場を職種別に見ると炭鑛關係が約七割を占め、あとの三割は土建鐵工業關係となつており殆んどが支拂見透しがないものばかりで平勞基署でも解決策に頭痛鉢卷となつている

惡家主二名に逮捕狀
不當な權利金などを取る

地裁平支部では十三日好間村上好間字新屋敷農小野初三郎（五〇）並に同村中好間上川原日雇橋本忠（三八）の兩名に對し地代家賃統制令違反による逮捕狀を發した、平地區署の調べによれば小野は營利の目的で好間村上好間字松坂五三小松道雄に對し一坪六十円の割で八十三坪二カ年分の前納金一万二千百六十円を受領して貸したものでこの外上好間村字新屋敷白石武平（三五）に對し二十四年八月一坪六十円（年額）にて三十三坪を五カ年間前納にて九千九百百円を受けたもの、橋本は同村中好間字川原菊地富雄さんに對し二十四年十二月三疊間一間を權利金五千円一カ月間代百円を受領取立ていたものである

油の通帳
十九日交付

平市商工課では榮種生產者及味噌自家醸造農家を除く一般家庭に對し醤通帳と引換えに十九日左記ヵ所で新食用油脂購入通帳を交付する

▽市役所、一—七、十一—十四、二十三、二十五區▽第三小學校八—十、十八—二十二、二十六、二十八、三十五、三十六區▽第二小學校十五—十七、二十四、二十七、三十二—三十四區▽平窯農協組合二十九—三十一區

贓物故買で檢擧

湯本町下湯長谷無職鈴木さわ子（三二）は去る三月十五日夜住居不定の窃盜被疑者宮崎誠外二名が湯本町寶海大森たきさん方から盜んで來た品物だと知悉していながら衣類、米など二十九點一万九千七百円相當を五千円で買受けたことが判り十四日贓物故買の疑で湯本町署に捕まつた

いわき俳壇
玉水吟社句會 兎丘選

春眠や音なき朝のさゝら雨
凡師を悔いず春眠ほしいまゝ　松甫
春眠や港に潮もねむること　〃
春眠をむさぼる五体旅にゐて　〃
春眠の何を欲して今覺めし　〃
春眠のたとへば夢の桃色に　砂丘
春眠やうつゝに鶏の聲を聞く　〃

ラジオ JOCP JOHQ
【16日】郡山放送 ローカル

前七・五『田植えと農民』鈴木美代七縣農試技師
後六・30 縣政便り國民健康保險組合はいかに活動しているか』縣保險課員阿部長藏
後七・30 鄉土の夕（二五回）『或る農業協同組合員の手記』郡山放送劇團

能澤の自轉車 輕くて强い、特許防水式 代理店 平市六丁目 門馬自轉車店

精工舍の時計 平一 トキワヤ時計店

三菱ミシン特約 コントロールの目…蛇の目…ミシン 草野ミシン商會店 平市南町電九六〇

お酒と洋酒 スタンド おぐら（かよ子）平市田町 福壽軒隣

カバン 各種修理加工 今村製鞄所 平市南町公會堂通

銘酒 松本德一吟釀

眼鏡專門 各眼科醫指定 玉屋 平市1丁目電（910）

男子用サンダル 各種取揃えてあります コンビネーション ラバー シユーズ 御注文承ります 靴專門店 菊一 平三丁目 電446

修理迅速 ユニバーサル センター ミシン 大庭ミシン 平市一丁目 電五六〇

レコードの水素爆彈 1枚 100圓 歌謠曲 浪曲 漫才 輕音樂各曲 平市五丁目 金光堂 電195

ミシンのミウラ 平市平和通り 電八六四

涼しいお座敷を御利用下さい 御料理 仕出し 貸席 燕樂 平市材木町電二二七三

爽やかなお姿を 電氣アイロン 300円より 各種（修理無料奉仕） 三井デパート 平市三丁目 電284

外科 肛門科 上田醫院 平市南町（平局裏通）電話一二九番

綿とふとん 打綿の御用はお電話次第早速參上致します 平市新川町 電話四二三 スズキ製綿店 工場 平市古鍛治町

萬年筆は專門店へ 万年筆用優秀インキ入荷 岡萬年筆店 平市中央通 電三九九

外科 小野彌久 若松醫院 平市大町一三 電話五〇五番

建築店舖ケースに 自由販賣のガラスで 吉村ガラス商工 平市長橋町 電六八九 平英（ハナブサ）ガラス商工 平市銀座通 電九五八 新妻ガラス商工 平市新川町 電一四二

小兒科 內科 蓬來（ホウライ）醫院 平市大町四二 電話一〇三二番

初夏の味覺！ 生ビール 新開樓 平市中央通 電1136

外科 產婦人科 入院隨意 木村將義 木村寅次郎 木村醫院 平市新川町一九（電一六四）